

食品関連産業の将来展望研究会〔第17回議事要旨〕

1 日 時：平成22年3月25日（木）10:00～12:00

2 場 所：三番町共用会議所大会議室

3 出席者：

【委員】

秋山委員、浅田委員、大橋委員、竹田委員（代理出席）、中野委員、
林委員、藤田委員、松本委員、柳川委員、山下委員

【事務局】

総合食料局 高橋局長、佐藤次長、新井食品産業企画課長、高橋食品産
業振興課長ほか

4 要 旨：

- 事務局より、研究会報告書(案)について説明の後、質疑・意見交換を実施。
- アジア市場で展開する際には、ボリューム・ゾーンである低・中所得者層への普及は欠かせないが、戦略的にブランド展開を行わないとレベルの低いブランドだと思われてしまい、ブランド価値が下がってしまう恐れがある。
- M&Aにより大きくなることは良いが、経営の難しさを考慮すると、食品の特性上、合併、連携などゆるやかなアライアンスが有効ではないか。
- 海外での現地法人の事業展開は、本社の指揮・チェックの下で行われるべき。
- 我が国食品企業が現地において受容されるか否かは、提供する商品だけでなく、介在するノウハウやプロセスをどう生かすかに懸かっている。
- 委員から発言のあった意見等の報告書への反映（修正）については、座長、座長代理及び事務局に対して一任することで委員了解。